

さっぽろのまちづくりにみんなの声を届けよう!

第18号
平成30年3月発行



この通信では、「子どもの権利」に関するさまざまな取組をお知らせします。

札幌市役所では、さまざまな場面で子どもが意見を言う機会をつくり、子どもの視点を活かすよう取り組んでいます。今回は、2つのテーマについて、みなさんからの提案や意見の内容とそれに対する札幌市の考えをお知らせします。

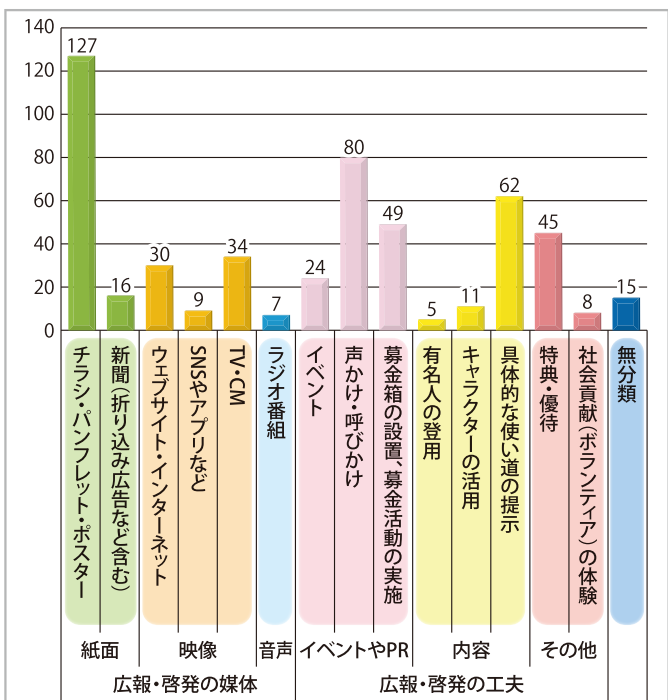
★ ★ ★ ★ ★

テーマは、①「さぽーとほっと基金の活用について」と②「ラグビーワールドカップ2019の開催に向けて」です。テーマについて、提案や意見をハガキに書いて送れる資料を市内の学校や区役所に配り、10～12月の期間で合計458名の子どもから、1,533件(テーマ①と②の合計)の意見が寄せられました。

結果は、次のとおりです。

テーマ① さぽーとほっと 基金の活用

272名
522件



※1人が複数の意見を提出しているため、各項目の件数と提出した人数は一致しません。



▲キャッピー
(さぽーとほっと基金
公式キャラクター)

例えばこんな意見



- 「さぽーとほっと基金」がどんな支援につながっているかを詳しく書いたパンフレットを配る。
- テレビ、ラジオ、新聞などのマスメディアで紹介したり、芸能人と有名人を紹介してもらう。
- 今の時代だからこそ、もっとSNSを利用して知ってもらう。
- 地域の学生が参加するイベントで、自分たち学生が寄付の呼びかけを行ったりする。
- 札幌市の色々なところに寄付用の箱を設置して、誰でも簡単に寄付できる環境をつくる。
- 「さぽーとほっと基金」に協力してくれた人に抽選でキャッピーのぬいぐるみなどをプレゼントする。
- 地下鉄などでキップを買う際に自分で「定価+基金」の値段を決められる制度にしたらい。

札幌市の考え方

これまで以上に、多くの方に「さぽーとほっと基金」への寄付にご協力いただくためにはどうしたらよいか、ということについて、たくさんの方のアイデアをいただき、ありがとうございました。

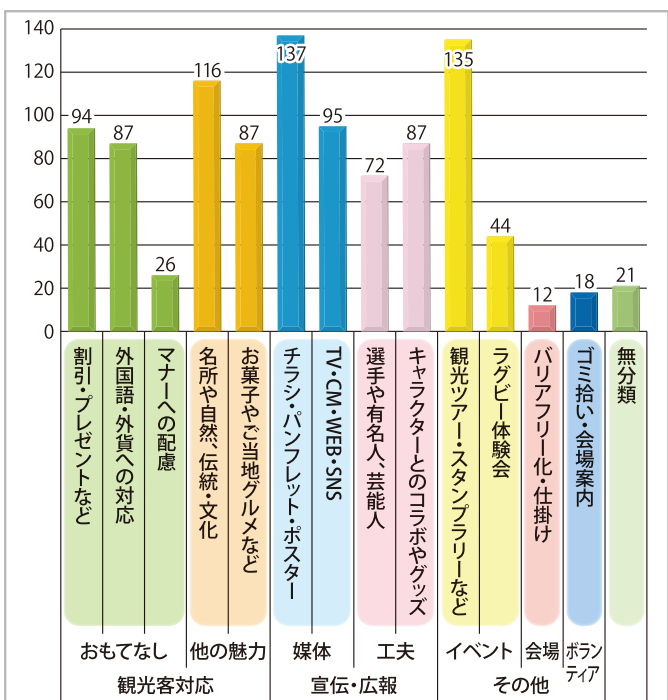
みなさんから意見が多く寄せられた「チラシ・パンフレット・ポスターの活用」については、マスコットキャラクター「キャッピー」を使用した各配布物を、札幌市内の公共施設や地下鉄駅構内などで配布・掲示しています。また、「声かけ・呼びかけ」や「具体的な使い道の提示」については、12月に地下歩行空間で行われるイベントなどで行っているところですが、このような取組をさらに充実させ、寄付がどんなことに使われているのか、もっとみなさんに伝えられるように検討していきたいと思っています。

「さぽーとほっと基金」に集められた寄付は、札幌で行われるたくさんの方のまちづくり活動を支援しています。また、直接、活動に参加しなくても、寄付によって札幌のまちづくり活動を応援することが出来るものです。「さぽーとほっと基金」のことももっとたくさんの方に知ってもらい、札幌のまちがより良いまちになっていくよう取り組んでいきたいと思っています。

たくさんの方の意見、本当にありがとうございました。

テーマ② ラグビー ワールドカップ 2019の開催

422名
1,031件



※1人が複数の意見を提出しているため、各項目の件数と提出した人数の合計数は一致しません。

例えばこんな意見



- バスや市電、地下鉄の無料乗車パスがあれば、交通渋滞や日本のお金にとまどう外国人観光客の悩みが解消されると思う。
- 時計台やテレビ塔、地下歩行空間に選手のパネルやラグビーボール、ユニフォームなどを展示したら、SNSなどで拡散されてより多くの人に見てもらえると思う。
- ラグビーの面白さを体験してもらうために、VR(仮想現実)技術を活用して自分が実際に試合をしているような映像を流すと良い。
- テレビでCMを流したり、ポスターをかいてラグビーのおもしろポイントを知ってもらおう!
- 家族連れで来られるように、会場に子どもを預けられる場所をつくる。
- アジア初を記念して、ステッカーやバッジなどのオリジナルプレゼントを配る。
- 歌舞伎とかのイヤホンガイドのような同時解説してくれるサービスがあれば、ラグビーを良く知らない人でも楽しく観戦できると思う。
- オリンピックみたいに、聖火リレーをした方がいい。
- ゴミ拾いなどのボランティアに参加したい。

札幌市の考え方

アジアで初めて開催される「ラグビーワールドカップ」に、たくさんの方々に観戦に来てもらい、楽しんでもらうためにはどんな工夫ができるか、ということについて、たくさんの方のアイデアをいただき、ありがとうございました。

みなさんからは①「ラグビーを身近に感じられるようにしてほしい」、②「ラグビーのルールがわからない」、③「観戦に訪れた観光客にご当地グルメの提供や名所・文化を紹介したら良い」という意見を多くいただきました。

①について、大会1年前となる今年は、スタンプラリーやクイズ大会など、誰でも気軽に参加できる「イベント」を多く開催していきたいと思っています。

②について、パンフレットやホームページなどを活用し、ラグビーの楽しさやルールをわかりやすく紹介していきたいと考えています。

③について、ラグビーワールドカップ大会中には、札幌市内に「ファンゾーン」と呼ばれるイベント会場を設置します。札幌や世界各国のグルメを堪能できる飲食スペースを設けたり、札幌の観光名所や伝統・文化を発信する場として、ラグビーに馴染みがない人も気軽に楽しめるようにしていきたいと考えています。

みなさんからいただいたアイデアを参考に、大会までの準備を進めていきたいと思っています。

たくさんの方の意見、本当にありがとうございました。



子どもにとって大切な権利

- ・安心して生きる
- ・自分らしく生きる
- ・豊かに育つ
- ・参加する

